



学校教育目標「心豊かに学び、共に明日の郷土を拓く、たくましい生徒」
今年度の重点「自律・創造・探究」

ひなげし



教育活動に関する
アンケート

令和8年 8月27日
南富良野中学校

教育活動に関するアンケート（前期） 結果について

1学期末に実施した保護者・生徒アンケートの集計が終わりましたので、結果をお知らせいたします。
評価は、以下の基準（4点満点）で行っており、質問項目ごとに肯定的な回答の割合を算出しました。

4（青）：そう思う

3（水）：どちらかといえばそう思う

2（黄）：どちらかといえばそう思わない

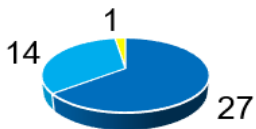
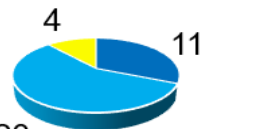
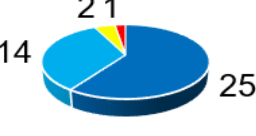
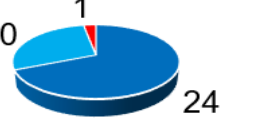
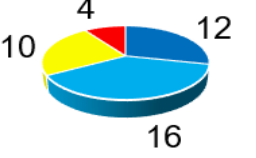
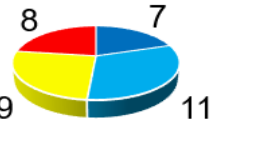
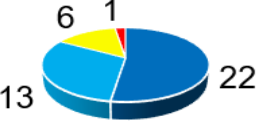
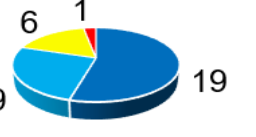
1（赤）：そう思わない

※質問11については「決めている」「決めていない」の二択としています

回収数（率） 生徒＝42/47（89％）、保護者＝35/40（88％）

円グラフの数字は人数

質問	前期生徒	肯定回答%	前期保護者	肯定回答%
[1.授業の内容はよくわかりますか]		90%		60%
[2.授業で、工夫して発表していますか]		86%		
[3..課題の解決に向けて自分から取り組んでいますか]		83%		
[4.互いの考えを伝え合って学びを深めようとしていますか]		81%		
[5.家庭学習の習慣が身についてきましたか]		67%		51%

[6.あいさつ・相手に 応じた言葉づかいを 心がけていますか]		98%		89%
[7.他の人の良さを 認め、思いやりのあ る行動を心がけてい ますか]		100%		97%
[8.学校行事、部活 動や生徒会活動に 自らすすんで取り組 んでいますか]		93%		97%
[9.起床・就寝時 刻、TVやゲーム、ス マホの使用時間な ど、生活リズムに気 をつけていますか]		67%		51%
[10.自分の体力の 状態を知り、運動に 親しもうとしていま すか]		83%		80%
11.TVやゲーム、ス マホなどについて ルールを決めていま すか		40%		49%

○（問 11 テレビ・ゲーム・スマホのルールを決めている 場合）どのようなルールですか。

【生徒記述】

○携帯、タブレットゲーム機の使える時間 ○時間制限をつける。 ○一日スマ
ホー時間 ○平日は、30分以上スマホ、ゲーム、テレビを見ない。 ○ゲーム、
平日はやらないで休日2時間 ○休日以外はゲームが使えない、9時まで ○勝
手にアカウントを作ったりアプリをダウンロードしたりしないこと ○ケータイを使
うときは、21時までで、1日1時間～2時間半まで。 ○時間を決める ○1
日15分くらい ○制限がついています。1日に使える時間が決まっています。
○ママのお手伝いをしたらしても良い ○スマホのスクリーンタイムよりも勉強をす
る ○3時間以上動画を見ない ○平日二時間、休日四時間まで。夜は九時まで

【保護者記述】

○スマホは朝7時から9時まで 各アプリは1時間以内 ○勉強ややることをやったら、時間を決めて好きなことをする。 ○ペアレントコントロール、平日は使用不可、平日の家庭学習をきちんとした場合のみ土日使用可 ○ネットを使える時間を設定している ○1日何時間までなど、きっちりとは決めていませんが、基本は「やるべき事をやってから」。楽しむ時と頑張る時のメリハリは自分から気持ちを切り替えて行動する事。スマホは姉弟で使う用に1台ありますが、制限をかけているので、基本的には通話のみ。周りの子がSNSをやっているから私も！の前に、自分にとって今何が1番必要で大切なのか考える事を伝えています。 ○やる事『翌日の準備等』が終わってからやりたいことを行う。9時には画面を観るのをやめる。親の携帯を使用している為友人との連絡は必要な時のみ。 ○平日はゲームをしない。休日は2時間まで。 ○携帯はないので、ゲームは土日のみ。テレビは勉強する時間を決めて、それ以外は自由 ○勉強と家の手伝いをしてから、もしくは後からしてもらう。 ○曜日、時間帯を決めて制限してますが、形骸化してます ○1日の使用時間は2時間以内というルールですが、全く守られていません。 ○スマホの利用時間など ○ゲームをする場合は2時間まで。自分のやるべきことを終えた後にテレビを見る（就寝時の22時まで）など。 ○やるべき事を終わらせてから ○家庭学習でノルマを設け、達成してからゲームをしている。 ○時間

○意見・要望があれば自由にご記入ください。

【生徒記述】

○最近ハマっているアニメがあってインターネットを見すぎていたと思う。
○9番の生活リズムでは、ちゃんと寝ているのですが、疲れが取れません どうしたらいいのでしょうか？
○家庭学習は自分ひとりではやろうとすることができない。やっぱり寺子屋が欲しい。
○授業の発表（国語のスピーチなど）であまり自分で工夫して出来てないと思うので改善策を教えてください
○睡眠時間は自分でも足りないと思っている。もう少し早く寝て早く起きれるように努力をする
○スマホの触り過ぎで家庭学習をあまりやらない。でも最近やろうって気持ちだけあるんでいいかなって

今回生徒の皆さんから寄せられた6件の声には、単に「生活習慣が悪い」ということではなく、①自分の課題に気付いている、②改善したいという気持ちがある、③一人で実行することに難しさを感じている、という共通点があるように思います。

こうした自分自身への気付きは、自律して生活するための大切な一歩です。学校では、生活リズムや家庭学習、ICT 機器の使い方について考える機会を設けるとともに、一人一人が具体的な目標をもち、実際の行動につなげられるよう支援していきます。また、学習の進め方や発表の仕方についても、授業の中で具体的に学べるよう工夫していきます。

今後、必要に応じて個別に声をかけます。一緒によりよい方法を考えていきましょう。

保護者の皆様からは、学習内容の理解や家庭学習、学習への意欲について、貴重なご意見をたくさんいただきました。ありがとうございます。学校への期待が寄せられていることを受け止めています。

家庭学習については、学校と家庭の連携が重要です。2学期からは「予定を立てる→実行する→振り返る」サイクルを日常化するため、家庭学習記録表を活用した取組を全学年で進めます。教員が学習状況を確認し、必要に応じて個別に相談しながら、一人一人に合った学習方法を一緒に考えていきます。また、「なぜ学習するのか」を将来の生き方やキャリアとも結び付け、自ら学ぶ意欲につなげていきます。家庭においても、子どもの学習を見守り、話題にしてくださいなど、ご協力をお願いします。

スマートフォンやゲーム等についても、生活リズムとの関係から「時間」の管理だけでなく、アプリや SNS の利用など、よりよい使い方について学校と家庭で考えていくことが大切です。実際に、8月末からは生活リズムチェックシートを活用し、メディア利用時間の振り返りや家庭でのルールについて話し合う「生活リズム改善週間」を実施しています。生徒自身が生活を振り返り、自ら調整する力を育てていきます。

放課後や長期休業中の学習支援については、地域の学習環境や生徒の実態を踏まえ、教職員の負担にも配慮しながら、どのような支援が可能か検討していきます。

遠征に伴う生徒・保護者・教職員それぞれの時間的・経済的な負担についてのご意見は、練習試合の必要性や移動距離、活動時間、指導体制等を総合的に考慮し、生徒にとってより効果的で、持続可能な部活動の在り方について検討していきます。練習試合を子どもたちの学びのための機会として受け止めていただき、ありがとうございます。

お忙しい中、アンケートにご協力いただき、心より感謝申し上げます。選択肢への回答に加え、自由記述にも多くの貴重なご意見をお寄せいただきました。温かい励ましの言葉もいただき、教職員一同、大変ありがたく受け止めております。

いただいたご意見を真摯に受け止め、今後の教育活動や学校運営の改善に生かしてまいります。

なお、今後の学校評価では、肯定的な回答の割合を一律に掲載することを見直します。本校は小規模校であるため、割合の数値だけでは、一人一人の思いや実態を十分に捉えることができません。それよりも、アンケートに寄せられた一人一人の声や、日々の子供たちの姿を大切に、そこから見えてくる課題やニーズを具体的な改善につなげることを重視していきます。

これからも、子供たちにとってよりよい学校を目指して、保護者・地域の皆様とともに学校づくりを進めてまいります。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。